

栄養職員部ニュース

NO. 153

2009. 12. 5発行

全教栄養職員部

TEL 03(5211)0123

FAX 03(5211)0124

〒102-0084

東京都千代田区二番町12-1
全国教育文化会館



第1回 全教栄養職員部 委員会 開催 2009年10月10日(土) 京都

大会後、はじめての委員会でした。委員会は年に2回、各県での情報交流ができる貴重な機会です。

全教からの報告：民主党政権から2ヶ月、自民政権時に各省庁から概算要求をだしたが、再度10月15日出し直しとなった。全教としては、署名とともに教職員定数など五大要求をかがげ、40万はがきのとりくみをすすめているところです。

協議事項

(1) **第19回全教栄養職員部定期大会について** (詳細についてはニュースNo.151参照)

11組織から43名の代議員に加え、数人若い組合員の傍聴者がおられました。討論は全組織からの発言ができ、組合員拡大の報告も多く、全国の状況・実態がわかる報告に勉強になったとの感想も寄せられました。各県の委員から、感想・意見をうかがいました。

今年は京都開催で、時期的に会場を確保するのがむつかしく、2日間で3カ所になりましたが熱い討論が交わされました。来年度の日程は、7月末から8月の土曜日曜、場所は東京を考えています。第20回大会・学習会が全組織参加を目標に、より一層充実するようご協力をお願いします。

(2) **学習会について**

・**分科会** 3つの分科会にわけ討論を進めています。食育では、それぞれの実践をすぐにとりいれられると好評で、合理化でも、勉強になったと感想が寄せられています。

第3分科会(支援学校)は、参加すれば交流ができてよかったという意見ですが、毎年参加者が少ないです。今後も、分科会の持ち方やレポート数など、参加しやすく、討論が深まる方向で検討していきます。

・**講演会** 来年度の学習会講師について希望があれば、連絡ください。

(3) **教育のつどい 教育研究全国集会** (詳細についてはニュースNo.152参照)

8月21~23日、東京での開催でした。1日目全体会のあと、フォーラムと続き、やや強行(?)日程でした。2日目「体育・健康」・「食」の分散会が行われ、昼休み、家庭科分科会との交流もあり忙しく感じました。「食」は参加者・レポート数も多く、とても充実していました。

各県からの意見では、夏期休業はだんだん短くなり給食がはじまる時期が早くなっていたり、校内研修や出張があったり、年々教研に参加しにくい状況になっているとの意見も出ましたが、一方で京都のように教研参加者の旅費を教組で出すなど積極的な取り組みをす

ることで参加者を出している県もありました。

来年のつどいにむけ、各県からのレポートを充実させましょう。

(4) 今年度の重点課題

① 1校1名の署名について

11月末最終集約とし、12月(予定)文科省に提出します。昨年は、12460筆でした。今まで実現しなかったことが実現する転換期になるかもしれません。昨年を大きく上回る取組をお願いします。署名の本数が多いので、各県専門部から確実に各県本部へおろしてもらうよう依頼していく取り組みが必要です。また、他の組織に要請に行くなど積極的に広げましょう。

② 栄養教諭制度に対するとりくみ

8月に文科省交渉に行いました。(ニュースNo.152参照)文科省の回答・反応など例年より感触はよかったです。

県によって、栄養教諭配置に差ができています。現役栄養職員が栄養教諭になる運動をすすめるとともに、任用替えが進んでいる県では、職務内容などの多忙化が問題となっています。アンケートなど実態を把握する取組も重要となってきました。

③ 学校給食の合理化

夏の学習会では、民間委託についての情報が知りたいという要望がでていました。広島からは、契約内容・仕様書、入札についてどう関わっていけばいいのか、問題が起こった場合の対処法はどうすればよいかなど知りたい。業者に学校経験有無を問う必要があるのでは。佐賀からは、会議に栄養士(現場)が入っていないとの問題点がだされていました。今後も、合理化についての運動交流が必要です。

④ 日本の農業を守り、学校給食を充実発展させるとりくみ

・「食料自給率向上のための政策を求める請願署名」が昨年取り組まれましたが、今年度も署名の取組を予定しています。書面の検討をし、各県に送ります。

日本の農業を守ることは、学校給食を充実し、子どもたちの給食を守ることにともなうります。署名のとりくみをよろしくお願いします。

⑤ 組織拡大について

加入お誘いパンフ作成予定です。活用して下さい。

各県で②③⑤の項目について状況や問題点を交流しました。

高知：栄養教諭の職務や採用試験の内容等について不安を感じている。アンケート必要。

特別支援学校の民託の契約が入札で、1年ごとに入れ替わっているところがあり問題が多数出ている。香南市では4つのセンターを1つにする統合の計画が進められており、考える会を作って運動をしている。新規加入1名。

北海道：障害児学校は全員が任用替えになったが、栄養職員の頃にはなかった期限付き講師の採用がでてきた。現在学校は、食育どころではなく、給食管理でいっぱい状況で食育までは難しい。寄宿舎が民間委託になったが仕様書など変更できず問題が多くあった。

京都：希望する栄養職員は全員任用替えになった。新規採用も栄養教諭です。06、07年栄養教諭アンケートを取り組み、多忙な実態が明らかになった。教育委員会と交渉

をもって職務の確認。より豊かな学校給食をめざす連絡会では、6月に運動の交流をした。冊子もできた。

埼玉（高）：栄養教諭制度導入はいまだになく、認定講習もなかった。組合で、学校での指導資料をみせながら、交渉をもった。民間委託業者の契約が、1年契約から2年契約に変わった。更新時期が夏休みに切り替えるので、1学期間は臨時採用の調理員で対応するので現場は大変。

大阪：4年計画で任用替え。今年度は2年目で半数は栄養教諭になった。08年にアンケート実施。職務内容が市町村や学校でもばらばら。今年もアンケートで実態を調査している。府教委交渉では、市町村を指導するといっている。合理化は全体として進んでいる。堺・八尾は100%民託。直営でもパート化がすすんでいる。特別支援学校の分校が開校するが、給食施設を作らず近隣の市町村の給食センターから運搬する計画がでている。スクールランチは今年度より導入となった。申請数は少ない。新規加入は2名。

埼玉：栄養教諭のアンケートをこれから実施。

栄養価の数値にしばられ困っているという意見があり、「食事摂取基準」の学習会をする予定。

2学期から、狭山市では、2つの給食センター（3000食・4000食）がPFI方式になった。運営維持管理は30年契約、献立・物資の管理は市の栄養士。

和歌山：今年度7名採用され、現在10名です。アンケートはしていない職務内容など実態わからない。今後の採用についてわからない。県は実績をだして予算要求をしている様子。

和歌山市では2校が民託、新規で3校計画され、署名などの取組がすすんでいるところもある。栄養士配置校22校で民託になり、偽装請負について勉強。

東京：栄養教諭アンケート実施。栄養教諭として採用されると食育リーダーとなり、教育委員会と学校の兼務となる。新採研や、講師としても派遣される。

健康推進課と交渉していたが、指導室と交渉。

合理化はすすんでいる、直営でも正規職員は減らされる。働く人の労働条件改善の取組が必要。

「ファイトケミカル」の学習会を実施、若い人の要求にこたえる学習を。

都の人勧がでたが、きびしい状況。賃金カット、年度末手当カットがすすむ。

兵庫：希望者は全員任用替え。認定講習を臨時の人にもひろげる。専門部の名前をどうしよう？という声がある。

組合は、主幹教諭になることをすすめている。管理的な色はあまりない？

評価シートの導入。栄養職員当時とかわりはない。

給食展の取組で農業委員会とタイアップし、地域の農業を知らせる取組をしている。

地産地消につなげる取組となっている。

12月4日に11名で文科省交渉を行いました。